

☆心意気実践チーム 行動指針 ミッション☆

ご利用者さま、職員の皆さまが...

“誰かのためにやりたいこと、自分のために挑戦すること、社会のためになること、そんな思い、心意気をカタチにします”

※心意気: 気立て、心映え、物事に積極的に取り組む姿勢

利用者さまの自立生活支援、重度化予防、QOL向上に資するご自分の価値やあり方を見い出すお手伝いを微力ながら出来ればと考えています。その先にある”自分らしさ”を一緒に追求します。

■心意気実践チーム■

1.心意気サポート

- ①活動・参加に向けて「ともに行う訪問介護事業所」や社外の自立支援サービスへとつなぐサポートを継続
- ②フレキシブルなサポート体制の構築(心意気サポート枠の日程調整、安定した雇用体制)
- ③サポート可能な日時や内容の告示を随時行なう方法を検討

2.アクティブリハビリ介護福祉士実務者研修 2019/20

- ①開催時期や募集要項、人員は未定
対象:社員 期間:6月~2020年5月終了見込み 広報・公募:5月中旬頃~
- ②内容は前年度とほぼ同様の見込み
- ③新人研修プログラムの一環として新卒者や中途入職者等を聴講生とし一部参加を促す
- ④アクティブクラブの企画
- ⑤心意気サポート、ともに行う訪問介護事業所との連動
- ⑥介護職に加えて療法士の介護福祉士ダブルライセンス獲得への誘導
- ⑦介護職向けのリハケア研修会(仮)の開催(年2回程度)、介護福祉士模試会
- ⑧実務者研修等の講師育成

3.心意気ワークショップ等の研修企画など

- ①ワークショップの企画運営
- ②当事者会開催の後方支援
- ③アクティブケア(個別ケア)の推進
- ④自主勉強会グループ、e-ラーニング、web オンライン学習会等の後方支援、企画
- ⑤第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 2019年6月12~16日 神戸

「患者からパートナーへ ～脳幹出血の医師とのリハビリテーションクリニック開設運営に向けた二人三脚の歩み～」ポスター演題

⑥外部研修等の講師育成

4.社内メルマガ(アクティブ流)

- ①社のタイムリーな動きを視覚化し、職員の皆さんに分かりやすくする
- ②各事業所内外の人と人(つながりの弱かったひと同士)を取材と誌面でつなぐハブ的な役割を担う
- ③弱いつながり(もしくは全くつながっていないところ)からの触発・イノベーション
- ④より一層の誌面の充実をキャリアインタビューやブログ更新を促すこと等で図る
- ⑤多様な働き方の話題提供により職員間の価値観の共有や個々の多様性への受容に向けて
- ⑥社内と社外発信へ(紙 or ネット)に向けた方法等の検討

5.ともに行う訪問介護事業所の事業展開

- ①新規利用者の開拓
- ②訪問やデイ利用者からの移行、追加利用
- ③心意気サポートとの連動
- ④NRCとの連携、生活機能向上連携加算Ⅰ、Ⅱ
- ⑤他事業者との連携、情報収集
- ⑥保険外の自費サービスの枠組み整備(内容、時間、料金、人員、利用の流れなど)
- ⑦学会発表及び参加

1)第53回 OT 学会 2019年9月6～8日 福岡 演題締切 1/15～2/18

「訪問作業療法士・介護福祉士が行う自立生活支援のための見守りの援助 ～アクティブ心意気実践チームの紹介も交えて～(仮)」

- 心意気実践チームとは
- ともに行う訪問介護事業所とは
- 身体介護による見守りの援助“ともに行う調理”とは
- 訪問作業療法士・介護福祉士が取り組む意義とは
- OT の職域拡大
- エンプロイアビリティ(雇用可能性)の拡大
- 新たな働き方の提案

2)リハケア学会 2019年11月21～22日 金沢 演題締切 6月末

「自立生活支援のための見守りの援助を主とした訪問介護サービスの事業展開(仮)」

- 訪問リハビリテーション事業所と訪問介護事業所が連携した自立生活支援とは
- 医療機関(NRC)の療法士と訪問介護員が連携した生活機能向上とは
- 実務者研修(社内キャンパス)による自立生活支援の担い手の社内育成とは